

平成 28 年 5 月 27 日

各 位


会 社 名 : 川 崎 汽 船 株 式 会 社
代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 村 上 英 三
(コード番号 9 1 0 7 東証・名証第一部、福証)
問 合 せ 先 : IR・広 報 グループ長 床 並 喜 代 志
(TEL 0 3 - 3 5 9 5 - 5 1 8 9)
経 営 企 画 グループ長 室 崎 正 浩
(TEL 0 3 - 3 5 9 5 - 5 5 9 4)

中期経営計画 Value for our Next Century - Action for Future -] に関する補足説明について

2016 年 4 月 28 日に発表しました中期経営計画「  Value for our Next Century - Action for Future -]
に關しまして補足説明資料を下記当社ホームページに掲載しましたのでご案内致します。

本補足説明資料は、発表後にステークホルダーの皆様からいただいた質問にお答えし、当計画へのご理解を深めて
いただくためのものです。

<http://www.kline.co.jp/ir/library/plan/index.html>

当社グループは、次のよりよい 100 年を迎えるため、経営の健全性および透明性を維持し、効率的な事業活動を通
じて企業価値「  Value」の向上に取り組むとともに、ステークホルダーの皆様への適時・適切な情報開示に引き続
き努めてまいります。

以上



中期経営計画


「**K** Value for our Next Century - Action for Future -」

補足説明資料

K "K" LINE
川崎汽船株式会社

2016年5月27日

中期経営計画 「 Value for our Next Century - Action for Future -」 補足説明資料

2016年4月28日に発表しました中期経営計画の見直し「 Value for our Next Century - Action for Future -」に關しまして補足説明資料を作成致しました。本補足説明資料は、発表後にステークホルダーの皆様からいただいた質問にお答えし、当計画へのご理解を深めていただくためのものです。

1. 2016年度から2019年度の業績目標に向けた取組み内容
2. 2019年度の主要セグメントの目標の姿

A-4ページを説明会資料に追加する形としております。

A-3 中期経営計画見直し (再掲載)

2019年度に向けた業績とROE向上に向けた取組み Value for our Next Century

(単位：億円)	2015年度 通期 実績	2016年度 通期 業績予想	2019年度 通期 目標	2020年度 以降 目標値	2019年度 前 計画値 (参考)
売上高	12,439	11,000	12,000		15,000
経常損益	33	150	450		850
当期純利益	▲515	▲350	330		600以上
EBITDA	247	330	930		1,500
ROE	▲13%	▲11%	8%	10%以上	10%以上
自己資本	3,554	3,200	4,000	5,000	6,000
自己資本比率	32%	31%	36%	40%	40%
有利子負債	5,252	5,200	4,800	4,800	4,800
DER	148%	163%	120%		80%
NET DER	80%	113%			55%
営業CF	396	0	900		1,200
投資CF	▲296	▲270	▲500		▲800
為替レート	¥ 120.78	¥ 110.00	¥ 110.00		¥ 110.00
燃料単価(MT)	\$ 295	\$ 275	\$ 370		\$ 500

▶ ROE向上に向けた取組み - 事業環境の構造的変化により、ROE 10%の達成時期目標を2020年度以降へ後倒し

$$\text{ROE 10\%} = \text{ROA (経常利益ベース) 6\%以上} \times \text{財務レバレッジ 2.5 目標}$$

(2020年度以降)

- 経営資源配分の修正
- 構造改革効果 [2016年度 +100億/2017年度 +135億]
- コスト削減・収益改善効果 [2016年度 +188億円]
- グループ全体の不用資産圧縮等による効率性向上

事業のボラティリティを認識し、

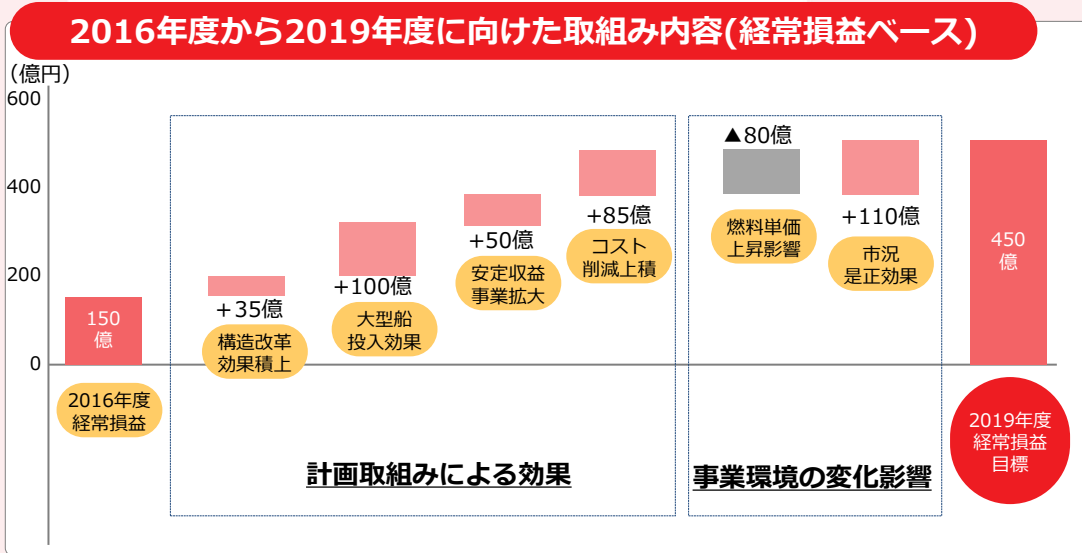
- 自己資本額 5,000億円
 - 自己資本比率 40%
 - 有利子負債 4,800億円
- を目標とする

※ROA(経常利益ベース)6%は、法人税等を考慮後のROA(当期純利益ベース)で約4%にあたり、4% X レバレッジ2.5 = ROE 10%を想定しています

▶ 配当方針

- 安定配当方針を継続
- 2016年度 - 配当未定
事業環境変化に対応した
構造改革実施後に、「安定性」・
「競争力」の確保を最優先とし、
配当を未定とさせていただきます。
(2016年度業績予想で説明)

2016年度から2019年度への取組み内容



2019年度への取組み(経常損益 +300億円)

計画取組みによる効果

- ▶ 2017年度の構造改革効果積上分 **+35億円**
- ▶ 大型船竣工に伴う競争力向上効果 **+100億円**
大型コンテナ船5隻(2018年度)/大型自動車船5隻(2017/2018年度)
- ▶ 安定収益事業の拡大効果 **+50億円**
自動車船/ILC等関連/物流事業等の拡大による収益増強効果
- ▶ コスト削減積上 **+85億円**
2017年度以降各年での取組み

事業環境の変化影響

- ▶ 燃油単価による収益への影響 **▲80億円**
- ▶ 2019年度に向けた市況是正効果 **+110億円**
- ▶ 合計 **+300億円**

経常利益450億円の達成

2019年度に向けた主要セグメントの予想・目標

(単位: 億円)

セグメント		2015年度実績	2016年度予想	2019年度目標
コンテナ船セグメント	売上高	6,230	5,800	6,600
	セグメント資産	2,315	2,100	1,950
	セグメント利益	▲100	110	220
不定期専用船セグメント	売上高	5,702	4,600	4,750
	セグメント資産	6,862	6,500	7,100
	セグメント利益	247	90	230

2019年度に向けた取組み

- ・ コンテナ船セグメント: コンテナ船事業の資産入替えと物流事業拡充
- ・ 不定期専用船セグメント: ドライバルク船売却等による資産圧縮と自動車船・LNG船・油槽船事業拡充

2020年度以降への取組み

中期経営計画見直しでは、足元での事業環境変化及び市況動向を見極めながら、「安定性」と「競争力」の確保を1ST STEPとして取組むこととし、ROE 10% 達成の目標を2020年度以降に後倒しております。まず、目標として掲げた2019年度業績に向けた本頁の内容を確実なものとして取組み、その到達点を踏まえた上で、以下の方針を継続して行く所存です。

- ・ 経営資源配分の修正
- ・ コスト削減等継続による収益力の向上
- ・ グループ全体の資産効率の向上

Value for our Next Century

- Action for Future -